


ふりがな 氏名	いこま だいすけ 生駒 大典	都道府県	愛知県	
所属/肩書	岡崎市立竜南中学校 教諭 (ESD教育・ユネスコスクール担当)			
私のESD活動	持続可能な地域社会のために、中学生が防災リーダーとなることを目標に掲げ、防災学習に取り組んでいます			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

本校では、防災教育3年目となる一昨年に、「竜南防災教育モデル」を策定し、学びの小単元を踏んでいくことで、誰もが同じ教育効果を目指せるようになった。プランの概要は、「つかむ」段階として、防災講話や防災オリエンテーションなどを行う。次に「さぐる」段階として、地域に目を向けた防災マップの作成や、防災マップを使ったDIGによる学びが行われる。さらには「深める」段階として、夏休みに行われる東北地方訪問交流や衣・食・住の3カテゴリーをさらに細分化した専門性の高い調べ学習を行っている。最終的な目標として「ひろめる」段階では、防災フェスタの実施において学校や地域での共有化を図っている。1年間を通して、計画的で系統的な防災学習を行うことができるようになった。それにより、学年や学級、個人にいたるまで、高い防災意識をもたせることができている。

また昨年度は、全中学校の生徒会長、副会長が集まって行われる生徒市議会にて、「中学生が作る防災都市岡崎—防災フォーラムの開催」と題して、全市で行う防災フォーラムを提案した。そうしたところ、今年度「愛知県・岡崎市総合防災訓練」として実現することとなった。本校は、提案校として避難所設営ゲームHUGへの参加と本校の防災学習の発表をさせていただくこととなっている。

本校の防災学習の取り組みは、他の中学校では行っていないことが多く、本校の特色の一つにもなっているほどである。今後、本校の取り組みを地域、市に広げていきたいと考えている。

○「竜南いのち守り隊」 <https://www.youtube.com/watch?v=spki-JwSgJc>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いませんか？

少しずつ本校の防災学習が広まりつつある。それをさらにより多くの人に知ってもらおうことを考えている。

学校で行う防災教育は地域を巻き込んで行うことでより効果を発揮すると考えている。本校の防災学習では、まず「つかむ」段階として防災オリエンテーションや防災講話を行っている。生徒は少しずつ防災というものに興味を抱くようになる。夏休みには東北復興支援訪問(有志)を行い、被災地の現状を知り、震災の実際を知ることによって防災学習に対して意欲的になる。次に、「さぐる」段階として学区を知るために学区の防災マップの作成を行う。学区の現状を知ることによって、少しずつ地域の防災リーダーとしての自覚が芽生えるようになる。そして「深める」段階として衣・食・住に分かれてより専門性の高い学習へと発展させていく。

最終段階として「ひろめる」段階がある。防災フェスタを開催し、1、2年生に1年の学びを広げていきます。「ひろめる」段階では、「ひろめる」活動を行ってはいるものの、それはごく一部のの人たちに限られる。少しずつ本校の防災学習も市内に広まりつつあるため、発表場所、発表の機会も増えてきた。それでも防災学習に興味のある方に限られ、地域一体とは程遠い現状にある。そこで、地域の方を招いて本校の防災学習を知っていただいたり、楽しく学べる防災食作りなどに参加していただいたりして、より地域の方に知っていただきたいと考えている。